

平成29年度 1級取得認定審判講習会 事前課題(2)

所属支部

氏名

4人制マニクスの各審判の判定責任を、下記表に記入してください。今後、見直せるように各自が理解できる記入方法で簡単に記入してください。

走者:なし 責任

Ump			
R0	本塁	一塁	二塁
PL	○	○	○
1BU			
2BU			
3BU			

走者:一塁 責任

Ump			
R1	本塁	一塁	二塁
PL			
1BU			
2BU			
3BU			

走者:二塁 責任

Ump			
R2	本塁	一塁	二塁
PL			
1BU			
2BU			
3BU			

走者:三塁 責任

Ump			
R3	本塁	一塁	二塁
PL			
1BU			
2BU			
3BU			

走者:一・二塁 責任			
Ump			
R12	本塁	一塁	二塁
PL			
1BU			
2BU			
3BU			

走者:一・三塁 責任			
Ump			
R13	本塁	一塁	二塁
PL			
1BU			
2BU			
3BU			

走者:二・三塁 責任			
Ump			
R23	本塁	一塁	二塁
PL			
1BU			
2BU			
3BU			

走者:一・二・三塁 責任			
Ump			
R123	本塁	一塁	二塁
PL			
1BU			
2BU			
3BU			

走者:なし Catcher Fly			
PL			
1BU			
2BU			
3BU			

東日本ブロック第1回審判講習会・基本的事項の確認

氏名 _____

1. () 内に正しい文言を記入して下さい。

① 公益財団法人日本少年野球連盟定款・第3条(目的)より:

本財団は、ボーイズリーグを通じて、硬式野球を愛好する少年に()のあり方を指導し、野球を通じて()と()を理解させることに努め、規律を重んじる明朗な社会人としての基礎を養成し、もって次代を担う少年の()を図ることを目的とする。

② 連盟審判規定・第2章公認審判員・第9条(目的)より:

連盟は、連盟及び傘下のブロック及び支部主催大会が()に()され、その()が()されることを目的として公認審判員を置く。

③ 公認野球規則・審判員に対する一般指示より:

- ・審判員にとって最も大切な掟は、「あらゆる()について()をとれ」ということである。
- ・最後に、審判員は()を重んじ、しかも()にして()でなければならない。そうすれば、すべての人々から尊敬される。

2. 審判員5つのキーポイントは、

- ・()見る・()をとる
- ・ボール、プレイを常に()に・判定を()
- ・()

3. 定義2アピール

守備側チームが、攻撃側チームの規則に反した行為を指摘して、()に対して()、その()行為である。

4. 定義64 クイックリターンピッチ

()をいう。

これは反則投球である。

5. 定義38 イリーガルピッチ

- (1) 投手が、()
- (2) ()、をいう。走者が塁にいるときに()すればボーグとなる。

2. 下記の設問の内容が正しければ()に○を、誤っていれば×を記入してください。

- 【問11】 () 打者が、バットの握りの部分から18インチを超えた部分をザラザラにさせたバットを使用した。打者にはアウトが宣告される。
- 【問12】 () 球審の判定に不満な打者が、バッタースボックス内で打撃姿勢をとろうとしなかった。球審はストライクを宣告する。
- 【問13】 () 捕手の打撃妨害が発生し、攻撃側の監督はプレイを生かす旨を球審に告げた。しかし、プレイが再開する前に、妨害のペナルティを適用するよう変更したいと申し出た。この申し出は認められる。
- 【問14】 () 捕手が投球をはじき、これをマスクでくい上げた。走者には捕手がボールに触れたときから1つの塁を与える。
- 【問15】 () 打者が右中間を抜こうとするような安打を打ったとき、右翼手が打球にグラブを投げつけて当てた。打者は3塁を空過して本塁に進もうとしたが、途中で気がついて3塁に帰ろうとした。このとき野手が3塁に触球して空過をアピールした。打者はアウトとなる。
- 【問16】 () インフライトの打球が鳥に触れて、地上に落ちる前にファウル地域で野手が捕らえた。ファウルボールである。
- 【問17】 () 走者1塁のとき、打球を処理した遊撃手が2塁ベースに触れようとしたが失敗した後、1塁に送球した。これが悪送球となりダッグアウトに入った。1塁走者と打者走者に送球が遊撃手の手を離れたときの占有塁から2つの塁が与えられる。
- 【問18】 () 塁に走者がいないとき、投手がボールを所持し、打者がバッタースボックスに入り、投手に面したときから、ボールが投手の手を離れるまで、投手は20秒以内に打者に投球しなければならない。
- 【問19】 () 両手投げの投手は、球審、打者および走者に、投手板に触れる際、どちらかの手にグラブをはめて、投球する手を明らかにすれば、投球毎に投球する手を変えることができる。
- 【問20】 () 2死満塁のとき、打者はフェンス越えの本塁打を打って4人とも本塁を踏んだが、打者走者は1塁を踏まなかつたので、アピールされてアウトとなった。3点が記録される。
- 【問21】 () フェアの打球が転がってきて、打者が落としたバットにフェア地域で偶然に触れた。ボールデッドとなり、打者にアウトが宣告される。
- 【問22】 () イニングの表または裏が終わったときのアピールは、投手および内野手がフェア地域を離れる前に行わなければならない。
- 【問23】 () 1死走者1・3塁のとき、内野手がバントのフェア飛球をグラブに当てて故意に落としたので、審判員はボールデッドとした。2死走者1・3塁で再開する。
- 【問24】 () 投手以外の負傷退場した野手に代わって出場したプレーヤーは、8球を限度としてウォームアップが許される。
- 【問25】 () ボールカウント1B-1Sのとき、監督がマウンドに行って指示を与え、ダッグアウトに戻った。次の投球が大きく外れ2B-1Sとなったところで、監督が再びマウンドに行こうとした。これは認められない。

- 【問26】 () 打者がプレイングフィールドの外に本塁打を打ち、1塁を回ったところで照明が全部消えてしまった。本塁打は有効とする。
- 【問27】 () 塁上に走者がいて、投手が投球動作を開始したときに、攻撃側の控え選手が「タイム」と叫んだので、投手は投球を中断した。バークが宣告される。
- 【問28】 () 走者が2・3塁間でのランダウンプレイで、すでに遊撃手からの送球がインライトの状態のときに、3塁へ進もうとした走者が走塁を妨げられた。その送球がダッジアウトに入ったので、その走者には3塁が与えられる。
- 【問29】 () 投手がセットポジションをとっているとき、2塁走者がスタートしたので、投手は3塁へ踏み出し送球しようとしたが、走者が途中で止まつたので送球を止めてマウンドを降り、2・3塁間に走者を追つた。バークである。
- 【問30】 () 投手が投手板に触れて捕手からのサインを見ているとき、打者が一方のバッタースボックスから他方のバッタースボックスに移つた。タイムを宣告し、出発点からやり直させる。